

令和7・8年度民間事業者等を活用した校外での
学習支援事業「いずみ希望塾」運営委託業務

プロポーザル選定評価基準書
(別紙1)

令和6年12月

和泉市

1 基本事項

本契約事業者決定にあたっては、最適な事業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を採用し、総合得点合計の最も高い提案者を優先交渉権者とする。総合得点合計が同じ者が2者以上あるときは、プレゼンテーション評価点のうち「提案内容の適格性」の合計点が高い方を上位とする。

2 審査

選定についてはプロポーザル選定委員会を設け、総合得点合計によって決定する。なお、集計は教育委員会事務局にて行うものとする。

3 選定方法

(1) 選定は1次選定及び2次選定の2段階選定方式により行う。

(2) 1次選定は、実績報告書における実績数（直近から5年以内の実績数：自治体を対象とした「校外での学習支援事業」の実績（様式7））の多い順、提案金額の低い順に並べて点数化し、合計点数の高い順から5者を選定（同点となった場合は、実績数の点数が高い者を上位とする）する。ただし、5者に満たない場合は1次選定を行わない。

① 実績数：過去5年間の契約件数が多い順に並べ、一番多い者を最高得点とし、以下2点ずつ減点した点数を得点とする。

② 提案金額：総額が低い順に並べ、一番低い提案者を最高得点とし、以下2点ずつ減点した点数を得点とする。

(得点例) A：15件 B：7件 C：15件 D：4件 E：20件

⇒ E（10点）、C（8点）、A（8点）、B（4点）、D（2点）

(3) 1次選定結果

① 1次選定結果通知：令和7年2月5日（水）を予定

(4) 2次選定（プレゼンテーション審査）の実施

1) 実施日時：令和7年2月12日（水）を予定。

2) 実施場所：和泉市教育センターを予定

※時間・場所の詳細については事業者ごとに設定し、後日連絡。

3) 実施方法

- ① 時間は1者につき概ね35分とする。(プレゼンテーション20分、質疑等15分)
- ② 参加できる人数は1者あたり正規社員3名までとする。
- ③ プレゼンテーションは提案書に基づき行うものとし、パソコンの持ち込み、機器の使用は可とする。(プロジェクター・スクリーン・HDMIケーブルは、市で準備する。) ※プロジェクターはEB-535W (EPSON)
- ④ 実施中における他の参加者の情報は一切提供しない。
- ⑤ プレゼンテーション・ヒアリング審査は記録用として録音する。
- ⑥ 会場内での発言については、提案書と同等の取り扱いとする。
- ⑦ プレゼンテーション及びヒアリングでの発言を含む議事録を作成すること。議事録は、優先交渉権者となった場合は、速やかに提出することとし、優先交渉権者との交渉が不調となった場合、次点交渉権者が提出することとする。

4. 総合得点

選定委員1人あたり合計200点満点とし、配点を次のとおりとする。

① プレゼンテーション評価点 170点満点

② 価格点 30点満点

提案限度額（税抜き117,446,600円）の80%以下（税抜き93,957,280円）の場合は、満点の30点。

提案限度額と同額の場合は0点。

それ以外の場合は、次式にあてはめる。

$$30 \text{ 点} - \left(\frac{\text{提案額} (*1) - 93,957,280}{117,446,600 - 93,957,280} \right) \times 30 \text{ 点}$$

*1 提案額が 93,957,280 円未満の場合は、93,957,280 円とする

※小数点以下切捨て

※選定委員 1 人あたり (プレゼンテーション評価点 170 点 + 価格点 30 点 = 200 点満点)

総合得点合計 (1200 満点) = 200 点満点 × 選定委員 6 名

※総合得点合計が同じ者が 2 者以上あるときは、プレゼンテーション評価点のうち「提案内容の適格性」の合計点が高いものを上位とする。

【評価項目シート】 ※選定委員1人あたり200点満点

	項目	内容	仕様書「4」との対応	満点
1	業務の理解度 (20点)	事業の目的を理解し、方針が立てられているか		20点
2	提案内容の適格性 (90点)	業務実施手順や指導内容を妥当かつ、事業目的が達成できると見込まれる有効性の高い実施方法が提案されているか	(1)受講者の募集・選考	10点
		・個に応じた指導方法等の工夫がなされているか ・学習意欲の向上に対する工夫や保護者との連携体制について計画されているか	(2)講座の開催・運営	10点
		児童・生徒ならびにその保護者と業務事業者間のトラブル等について、対応および保護者との連携がとれる体制が取れているか。	(3)児童・生徒の管理、保護者からの相談対応	10点
		・学力診断テストを実施し、学習の定着状況等を把握分析等を行い、日々の学習支援に活用できる体制がとれているか ・学力診断テストをもとに、児童生徒個々の学習指導計画を作成できるか ・学力診断テストの結果について必要に応じて本人・保護者等に情報開示を行う体制がとれているか	(4)学力診断テスト(年3回)の実施	15点
		・年間を通じて、学習方法・進路選択等に関する指導助言等を行う体制となっているか	(5)学習方法・進路指導等に関する指導・助言	10点
		・家庭でのAIドリルの自学自習履歴(学習時間・学習内容及び進捗状況・正誤状況等)の把握を次回会場実施の対面授業2日前までに行い、当該児童保護者に対し、学習状況に対するコメント(学習のポイントやアドバイスや等)を、メールで連絡する体制となっているか	(2)講座の開催・運営 (6)活用教材	10点
		・家庭学習習慣を定着させるための促進方法の工夫がされているか。		10点
		各会場において1人1台学習用PCを円滑に使用できる環境を整えることができる体制となっているか	(8)Wi-Fi環境について	15点
3	業務遂行力 (15点)	・業務遂行体制(従事する講師の質、人員体制)は妥当か ・従事者への研修プログラム等が組まれているか	(7)研修の実施について	15点
4	業務執行技術力 (30点)	当該業務を遂行するために必要な知識・経験を有しているか		10点
		業務を適切に管理し、必要に応じ改善できる体制となっているか(R-PDCAサイクル等、マネジメントシステムの活用や利用者アンケートの実施など)		10点
		災害や事故等における緊急時への対応策を含め、安全管理への配慮ができる体制となっているか		10点
5	個人情報保護 マネジメント力 (15点)	個人情報保護、セキュリティ対策は適切か。	(9)個人情報保護マネジメントについて	15点
6	価格点 (30点)	$30点 - \left(\frac{\text{提案額}(*1) - 93,957,280}{117,446,600 - 93,957,280} \right) \times 30点$ <small>*1 提案額が93,957,280円未満の場合は、93,957,280円とする。</small>		30点
合計得点				200点